



吹奏楽部
キタラホール エントランスで

吹奏楽部 札幌地区B編成
惜しくも全道を逃す 金賞

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2025年8月22日
第24号

吹奏楽部は8月1日、全日本吹奏楽コンクール第70回北海道予選札幌地区大会 高校B編成に出場した。天野正道作曲の「ラフレージ・パースタティック・エ・エクスタティック・アヴエック・アン・プロログ・エ・レピログ」を演奏した。この曲は技術的にも音楽的にも高度な曲で哲学的な要素も含まれている。コンクールには10校が出場し、本校を含む4校が金賞を受賞。残念ながら、全道大会出場は2校には選ばれなかった。

悔しさが残る結果となったが、9月21日の定期演奏会と日本金管合奏コンテストの予選（9月末）突破を目指し、吹奏楽部の挑戦は続く。

左から山田瑠菜さん、尾山葵衣さん



バドミントン部小樽地区シングルス・ダブルス共に優勝

7月24、25日、第76回小樽地区バドミントン選手権大会が小樽総合体育館で開催された。ダブルスで山田瑠菜（213）・尾山葵衣（14）組が優勝、シングルスで山田瑠菜が優勝、尾山葵衣が3位に入賞し、8月14日から函館で開催される北海道選手権大会に出場する。

シングルス、ダブルスで2冠となった山田瑠菜さんはこれまで地区で準優勝が続いていたので、喜びもひとしおだ。シングルのベスト8決めの試合は点差が開いていたが、追い上げて逆転した。「粘れるようになって」と自らの成長に手応えを感じている。

組んで10日で優勝
山田・尾山組のダブルスは試合の10日前に組むことになった。練習不足による不安はあった。山田さんは「ベスト8で優勝を意識し、ベスト4の試合で競った。試合を重ねる中で成長できた」と振り返る。

尾山さんは「ダブルスで優勝したからにはシングルスでも結果を出さない」と気持ちを引き締めた。準決勝では中3の中学生で対戦した相手と戦った。その後、3位決定戦だったが、気持ちをリセットして臨んだ。「自分でプレーを考えて戦えるようになった」。その結果、3位に入賞した。

ダブルス決勝では、相手を寄せてカットで決めたポイントがある。そこからさらに意識が高まったという。全道大会でもさらなる飛躍を期待したい。

中学生の英語の観光案内を補助

OTARU
ENGLISH
CAMP

小樽市教育委員会は市内の小学校高学年、中学生を対象に小樽のPRを英語で伝えるトレーニングを行っている。8月7日、そのキャンプに本校から4名がサポート・ボランティアとして参加した。



堺町通りで実践中

約30名の中学生が参加し、小樽とその周辺のALTT11名が指導に入った。参加者は小グループに分かれ、そこに本校生が中学生とALTTの橋渡しとして入り、小樽観光案内PR活動に貢献した。



最初はアイス・ブレーキングでコミュニケーションを取り、次に会話練習、観光案内PR活動の準備をしてから、運河へ移動し実践した。本校生はクルーズ船の観光案内の経験もあることから、中学生に余裕を持ってサポートできた。